

令和6年度

奈良市立看護専門学校

一般入学試験問題

国語

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机の上には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の各問いに答えよ。

翻訳について何か書けということだが、僕の翻訳は専門ではなくて物好きの方らしいから、別にとり立てて主義主張のあるわけでもない。ただ近ごろはやりの単色版的翻訳ということであってちょっと感じたことがあるので、それでも書いて見よう。

単色版的翻訳というのは、いうまでもなく野上豊一郎氏の提唱にかかるもので、「原物の意味だけを理知的に伝える」ことだけで満足しようとする、いわば合理主義的な行き方の名称である。ところでこの説の設定しようとする翻訳の限界はたしかに一応は正しいものだと思う。この説の聡明さもまずもって認められて然るべきかと思われる。ただその聡明さは、うちに無限の矛盾を含みながら保たれている調和——という気味を、多分に含んでいることを免れないようである。言いかえると、(ア) この説の誤解され易い点は、それが一見したところ、翻訳の生理とか心理とか言ったものから、論理面だけを単純に切り取りおおせているように見えるところにあると思う。㉑

この単色版説の恰好なよりどころとして、普通もちだされるのは鴉外の翻訳である。だが世の中にこれほど滑稽な勘違いはない。(イ) 鴉外のつかう語彙くらい色感の強いものは、ほかの文学者には見当らぬほどである。鴉外の文章は、意味と色とトオンとのつながりに慎重きわまる吟味を重ねた挙句に選び当てられた、的確きわまる語彙を素材とした揺るぎない構築物なのである。一体誰にあの『魚玄機』が書けるというのであろうか。一体誰に『即興詩人』が書けるというのだろうか。いや、論者の考えているのは鴉外の晩年ちかい枯淡な味わいの訳文なのであろうが、その淡々として水のごとき行文を支えているものはやはり、昔の鴉外の厳正な風格にほかならない。あの平明な口語文はやはり彼独特のもので、今日のわれわれの到底使いこなし得るものではない。その意味であれば紛れもなく一種の文語なのである。これほどの見分けもつかぬような人は、文学なんかおやめなさいと申しあげるのほかはないのである。

それはそうとして、(ウ) 翻訳の生理という、まず論理を生かす道としての表現のことが考えられる。この表現上の差別という厄介千万なものをなくすためには、知性の改造という非常に遙なイメージを描かなければならない。野上氏もこの点には触れておられるし、それが遅かれ早かれ克服されなければならない懸案であることには僕も至極同感なのだが、仮に何時の日かこの遠いイメージが実現されたにしても、案外ごく限られた可能性をしかもたらしてはくれそうもない——という気が強くするのである。㉒

昨年秋のジイドの日記のなかに次のような一節があった。それは、「思いつくままに書き下す」というスタンダードの秘訣をたたえ、それとはおよそ対蹠的な例として、翻訳という仕事を挙げたものであった。他人の思想を扱うのだから、その思想を暖めたり、包装したりすること、従って言葉の選択や表現が問題になって来ると言い、その結果、「何を言うにも言いかたが幾とおりもあり、そのうち正しい言い方は唯一つであると信じるようになる。で内容と形式とか、感情や思想とその表現とか、元来一である筈のものを別々に考える悪習を生ずる」と言うのであった。

これは翻訳という不自然な労働が、人間の思考におよぼす害毒を、ずばりと言い当てたことばで、多少とも良心的に翻訳の道に志すほどの人にとって、有益な警戒信号たるを失わない。だが差当つての問題は、この言葉の描き出しているもう一面の苦い真理である。その面は、かりに知性の西欧化が実現されようとも、必ずしもそれで翻訳の道は、のんきに葉巻でもふかして行けるほど坦々たる道にはなるまいという真理を、悲しいかな物語っているのである。そこにはまだまだ同義・等量・等値などという有機的な諸関係のあいだにおびただしい未解決の問題が残されるであろうこと、したがって単なる合理主義的な行き方だけで勝利の日を期待しても、おそらくその日は必ずしも近く

はあるまいということを暗示している。㉞

それは主として翻訳の生理の問題なのだが、この生理に加えてもう一つ厄介な重荷は、(エ) 翻訳の心理ともいうべきものであろう。それは言ってみれば次のような性質のものだ。——およそ多少とも良心的な翻訳者が、仕事に当ってまず用意する心構えは、自己を棄てるということの他の何物でもあるまい。翻訳者は原物の意味や思想に没入しようとする一方、同時にまた原作者自身の創作を周囲から支えていた情感や気分にもまでも自己を転化させようという、まことに不思議な欲望に誘われるものである。それは極端にいうと、観念として抽象し得るもののみにとどまらず、原作者の体温とでもいった肉体的な要素にもまでも迫ろうとする欲望である。

もし完全な翻訳者というものがあるとすれば、そのようにして幻想された体感が、一々原作者のそれに合致するという、真にあり得べからざる玄妙の境に達し得る人でなければなるまいが、勿論そんなことがあつては堪まらない。㉟

合理主義的な行き方が、翻訳者から自己の情緒本位の創意を剥奪せよ、と主張するのはいかにも正しい。(オ) 僕としてはそれが行き過ぎて、ついでに今いった心理的にも原作者にできるだけ近づこうと欲求する、その欲望の自由をも奪うようになることを恐れたのである。それは(カ) 翻訳者という奇体な生き物にとっての残された唯一の自由であり、創意なのだから、できるだけ尊重してやりたいものと思う。

翻訳という問題はもともと生木のようにくすぶるのが運命である。もともと自然の法則に反して燃えることを強制されているからである。そこで単色版的翻訳というすこぶる便利な諦観が、原則として翻訳の救いとなって現われるということになる。しかしこれが、単に翻訳者のための救いであるだけでは何の意味もない。読者のための救いであっても詰まらない。それは翻訳そのものの救いではなければならない、そのためにはやはり、翻訳の論理は、生理や心理を道連れに永遠に苦しんで行くほかはないのである。(神西清「翻訳の生理・心理」による)

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の㉠～㉥のうちから一つ選択せよ。

それは全く同じ指紋の人が二人いるみたいなものである。しかも大切なことは、この自己転化という危険な誘惑に憑かれない限り、翻訳という形象再生の仕事が到底成り立たないばかりか、翻訳者という生ける人間が第一成りたち得ないという事実なのである。

- 1 ㉠ 2 ㉡ 3 ㉢ 4 ㉣ 5 ㉥

問題 2 下線部(ア)「この説の誤解され易い点」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 翻訳の生理や心理のあらゆる問題を残し、上辺だけの論理によって翻訳者のための救いになっている点。
- 2 翻訳の生理や心理を的確に把握せず、これらに残されたおびただしい未解決の問題から目をそらしている点。
- 3 単色版的翻訳が、翻訳者のための救いにすぎず読者のための救いとしてはいまだ不十分である点。

- 4 翻訳の論理が翻訳そのものの救いとして、翻訳の生理や心理の複雑さあつての調和を理解できていない点。
- 5 翻訳の限界を的確に把握しておらず、翻訳の生理や心理を^{ないがし}蔑ろにして便利なものに成り下がっている点。

問題3 空所（イ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 したがって
- 2 一方で
- 3 いわば
- 4 つまり
- 5 かえって

問題4 下線部（ウ）「翻訳の生理」とあるが、この問題とはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 表現上の差別をなくすために、知性の改造を行い遠いイメージを構築すること。
- 2 他人の思想を扱う際に、自分の思想によって他人の思想を暖めたり包装したりすること。
- 3 翻訳にもスタンダードの秘訣である「思いつくままに書き下す」を適用し、正しい言い方を一つに限定すること。
- 4 他人の思想を正しく表現する方法を一つと決めつけることで、元来一つである筈のものを別個に考えること。
- 5 合理主義的な考え方だけでは、翻訳の道に残された数々の未解決の問題に対処できるほど単純ではないこと。

問題5 下線部（エ）「翻訳の心理」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 翻訳者が自己を棄て、原物の意味や思想に没入しようとする事。
- 2 原作者の創作を支えていた周囲の情感や気分^に自己を転化しようとする事。
- 3 翻訳者が抽象し得るものだけでなく原作者の肉体的要素にまで迫ろうとする事。
- 4 翻訳者が、原作者の体感一つ一つに合致する体感を幻想することができる事。
- 5 翻訳者が自己転化の欲望から逃げながら翻訳の仕事^をを成立させようとする事。

問題6 空所（オ）に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 つまり
- 2 ただ
- 3 しかも
- 4 したがって
- 5 そのために

問題7 下線部（カ）「翻訳者という奇体な生き物にとっての残された唯一の自由」とあるが、それはどのようなことであるか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 翻訳者が自己転化という誘惑に憑かれ、あらゆる面で原作者に近づこうと欲求すること。
- 2 翻訳者が幻想した体感が原作者のそれに合致するまで、翻訳を極めたいと欲すること。
- 3 合理主義的な行き方の狭間で、自己の情緒本位の創意を働かせようと欲すること。
- 4 自己を棄てようとする衝動と合理主義的な行き方を調整するために翻訳者各々が工夫を凝らすこと。
- 5 自己転化に取り憑かれることなく、翻訳という形象再生の仕事^をを成り立たせようとする事。

問題 8 本文の内容と合致するものとして最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 単色版的翻訳はいわば合理主義的な行き方であり、知性の西欧化が進めば翻訳の救いとなる。
- 2 単色版説の論者は鷗外の晩年ちかい訳文を例にあげるが、筆者は昔の鷗外の風格においてこれを否定する。
- 3 鷗外の翻訳は彼独特のものであり、「原物の意味だけを理知的に伝える」単色版的翻訳の例としてはふさわしくない。
- 4 「思いつくままに書き下す」ような翻訳者の自由は、合理主義的な行き方においては剥奪されかねない。
- 5 元来一である筈のものを別々に考えることは、良心的な翻訳者にとっては本来起こり得ないことである。

第 2 問 次の各問いに答えよ。

問題 9 下線部の漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 潮時 (ちょうじ) をうかがって退く。
- 2 この商品は鋼 (ごう) 鉄の板を使っている。
- 3 制服の寸法 (すんほう) を確認する。
- 4 親友のために時間を割 (さ) く。
- 5 社長の命令に背 (しりぞ) く。
- (2) 1 救急車のサイレンに胸 (むね) 騒ぎがする。
- 2 備忘録 (びしろうく) を書きとめる。
- 3 専 (みずか) ら映画に夢中になる。
- 4 山の斜面が崩落 (とうらく) する。
- 5 実家は養蚕 (ようさん) 業に携わる。
- (3) 1 歯切れのよい弁舌 (べんぜつ) が、さえわたる。
- 2 本の巻頭 (ばんとう) に特集が組まれる。
- 3 的を射 (え) た発言に脱帽する。
- 4 誰もが幸せを欲 (よく) する。
- 5 模範 (きはん) 解答が配られる。

問題 10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 イノシシの守獵が解禁される。
- 2 脱線事故により電車が運休する。
- 3 会場に熱響的なファンが集う。
- 4 日本で一番長い川は信農川だ。
- 5 水質汚諾の問題に声を上げる。
- (2) 1 今年の夏は猛列に暑い。
- 2 寸日を惜しんで本を読む。
- 3 男性の育児参加は過渡期を迎えている。
- 4 銅上げでキャプテンが宙に舞う。
- 5 彼女は有名な客本家だ。

- (3) 1 姉と少女慢画を読む。
 2 会場に澄んだ声が響き渡る。
 3 新社長の経営手筈に期待する。
 4 この石けんは植物油旨を含んでいる。
 5 狭小地にマイホームを建てる。
- (4) 1 重要書類の容解処理を依頼する。
 2 各店舗一律の料金体形となる。
 3 祖父は要痛に悩んでいる。
 4 オリンピックで金メダルを獲得する。
 5 点滴で栄養を投与する。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) ホ険証を提示する。
 1 熊をホ獲する。
 2 豊かに実った稲ホを刈り取る。
 3 ホ助金の申請を行う。
 4 道路の一部をホ装する。
 5 ホ育施設を増やす。
- (2) 新しい市長が初トウ序する。
 1 不動産の相続トウ記を行う。
 2 伝トウ文化を未来に受け継ぐ。
 3 住民票のトウ本を発行する。
 4 トウ突な質問にとまどう。
 5 父は南の病トウに入院している。
- (3) 一念キして渡米を決意する。
 1 台風が熱帯低キ圧に変わる。
 2 キ重な宝石を手に入れる。
 3 町内会の会則をキ案する。
 4 キ跡的に一命を取り留める。
 5 経営者としてのキ量に欠ける。

問題 12 次のうち「傾斜」の同意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 直下 2 至近 3 湾曲 4 急転 5 勾配

問題 13 次のうち「尊敬」の反意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 無知 2 失脚 3 皮肉 4 侮辱 5 叱責

問題 14 次の語句の意味として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) ディスカッション

- 1 物事に対する緊張感のこと。
- 2 特定の問題を何人かで話し合うこと。
- 3 市場経済などが世界的規模に拡大すること。
- 4 天啓を得たように突然ひらめく考えのこと。
- 5 世間の耳目を集め、興奮させること。

(2) 木に竹を接ぐ。

- 1 ちりぢりばらばらになること。
- 2 出世したり、金銭に恵まれたりしないこと。
- 3 細部にこだわって全体を見ないこと。
- 4 いったんはよくなったものが、また元通りの悪い状態に戻ることに。
- 5 物事のつながりなどが、うまく調和しないようすのこと。

(3) 立つ瀬がない。

- 1 世間などに対して、自分の面目を失う。
- 2 激しく怒ったり、興奮したりする。
- 3 これ以上逃げ場がない。
- 4 時機を失っているので、どうにも仕方がない。
- 5 危険なことや破局が、すぐにでも起こりそうな気配がある。

(4) 右往左往

- 1 あちこち忙しく駆けまわること。
- 2 情勢の変化につれて喜んだり心配したりすること。
- 3 懸念される出来事が内外にあること。
- 4 混乱してうろたえること。
- 5 たいへんな苦しみを受けること。

(5) 泰然自若

- 1 統一がなく、てんでんばらばらであること。
- 2 似たりよったりで大した差のないこと。
- 3 何事が起こっても落ち着き払って、少しも動じないさまのこと。
- 4 骨身を惜しまず、全力を尽くして事に当たること。
- 5 決心がつかず、煮えきらないこと。

問題 15 次の意味を表す言葉として正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 人や物事に関する興味ある話。

- 1 インタビュー
- 2 オフレコ
- 3 アンケート
- 4 フィクション
- 5 エピソード

(2) 土地や場所が非常に狭いことのたとえ。

- 1 虎の子
- 2 猫の額
- 3 瓜二つうり
- 4 野次馬
- 5 雀の涙すずめ

(3) 物事の最も大切な部分。

- 1 一挙兩得
- 2 以心伝心
- 3 日進月歩
- 4 画竜点睛せい
- 5 首尾一貫

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 就職活動の疲れが出て、泥のように眠ってしまった。
- 2 息子の作品は、枯れ木に花の賑わいといったレベルだ。
- 3 最下位の汚名を挽回するために、満を持して試合に臨む。
- 4 残り物でも、安かろうが悪かろうがと言われる商品ではない。
- 5 彼女は藪から蛇に説教を始めた。

問題 17 次の記述に当てはまる人物の名前として正しいものを一つ選択せよ。

初期には古典説話に取材し、登場人物の心理を理知的に解釈して見せた。中期には、現在も多くの学生に読まれている『蜘蛛の糸』『杜子春』『トロッコ』などを児童雑誌「赤い鳥」に発表。その後自伝的小説を書くが、晩年には神経衰弱にかかり、将来に対する「ぼんやりした不安」を抱いて自殺した。この時期の作品には、時代や自己への悩みが色濃く表されている。

- 1 武者小路実篤
- 2 井上ひさし
- 3 芥川龍之介
- 4 向田邦子
- 5 有島武郎

以 上